

会社名: 有限会社 ホリケン		承認	承認	承認	承認	承認	承認
第121回 安全衛生協議会		議事録					
実施年月日	2022年7月8日	議事録作成者		[REDACTED]			
責任者	堀 峰也	出席者		別紙参照			
《安災システムにて開催致しました》		2 熱中症対応フローチャート		【20分】			
1 熱中症 発生統計表	【25分】	チェック1 熱中症を疑う症状有りますか？		(めまい・失神・筋肉痛・筋硬直・大量の発汗・頭痛・吐き気・嘔吐・倦怠感・意識障害・痙攣・運動障害・高体温)			
厚生労働省発表 令和3年 職場における根中小による死傷災害の発生状況 (令和4年1月14日時点速報値)		チェック2 呼びかけに応えますか？		YES・涼しい場所へ避難し、服を緩め体を冷やす。(チェック3へ) NO・①救急車を呼ぶ(応急処置を始める。呼びかけへの反応が悪い場合は無理に水を飲ませてはいけない。) ②涼しい場所へ避難し、服を緩め体を冷やす(氷嚢等で首・脇の下・太ももの付け根を集中的に冷やす) ③医療機関へ(本人が倒れた時の状況を知っている人が付き添って、発症時の状況を伝えましょう)			
1、職場における熱中症夜死傷者数の状況(2012～2021年) 職場での熱中症による死亡者及び休業4日以上の上業務上疾病者の数は、令和3年に547人のうち死亡者は20人となっている。 過去10年間の発生状況、年平均死傷者数638人、死亡21人であり直近3年死傷者数は過去10年の36.6%を占めている。		チェック3 水分を自力で摂取出来ますか？		YES・そのまま安静にして十分に休息をとり、回復したら帰宅しましょう NO・救急車を呼び医療機関へ(本人が倒れた時の状況を知っている人が付き添って、発症時の状況を伝えましょう)			
2、業種別発生状況(2017～2021年) 過去5年間の業種別死傷者数は、建設業、次いで製造業で多く発生していた。 2021年の死亡災害については 建設業が11件と最も多く、過去5年間においても死亡災害の最多業種となっている。		チェック4 症状が良くなりましたか？		YES・そのまま安静にして十分に休息をとり、回復したら帰宅しましょう NO・救急車を呼び医療機関へ(本人が倒れた時の状況を知っている人が付き添って、発症時の状況を伝えましょう)			
3、月・時間帯別発生状況(2017～2021年) (1)月別発生状況 (2)時間帯別発生状況 ①2017年以降 全体の8割以上が7・8月に発生していた。死亡者数の割合は、7月・8月・9月の順に高かった。 ②時間帯別の死傷者数は 15時台が最も多く、次いで14時台が多くなっていた。		※ スポーツや激しい作業・労働によって起きる労作性熱中症の場合、全身を冷たい水に浸す等の冷却法も有効です。 ※					
4、2021年の熱中症による死傷者数の特徴 ①WBGT値の実測不足 ②暑熱純化の不足疑われる入職直後の発症 ③屋内作業での発症 ④熱中症の発症と年齢の関係 ⑤熱中症発症時の服装 ⑥熱中症発症者に対する対応や発見の遅れ ⑦熱中症を原因とする二次災害		3 必須動画		【10分】			
		・東京消防庁 応急処置動画					

